

大賀小学校

児童数:163人
(小祝218-2 ☎52-0518)

大賀のよい子

- 1 よく考え進んで勉強する子
- 2 健康で最後までがんばる子
- 3 仲よく助け合い礼儀正しい子
- 4 喜んで働き人のために尽くす子

○大賀小学校はこんな学校

学校の歴史を振り返ると、明治20年に上大賀・鷹巣・小祝・照田の4校が合併し、上大賀小学校が設立され、その後、何度かの改称を経て、昭和30年に現在の校名のもとになる大宮町立大賀小学校として発足し、今年で121歳になります。国道118号線を北に向かい辰ノ口親水公園入口から左に見る高台に建っています。

現在6学級163人の児童が、元気に学習や運動に励んでいます。

昇降口には、子ども達が丹精込めて育てた三本仕立ての菊がそれは見事に咲き誇っています。



○なかよし祭り

二期期の大きな行事の一つに「なかよし祭り」があります。これは、地域の方々と異学年同士で触れ合いながら、様々な体験活動を行うことを通して互いに交流を深めていくことをねらいにしています。地区の高齢者クラブの方々にゲスト・ティーチャーとなっていたいただき、竹馬や竹トントンポ、お手玉を作りました。また、輪投げやゲートボールなども体験しました。



最初は慣れない手つきでしたが、クラブの方々の懇切丁寧な教えによって見事な作品を作り上げることができました。このコーナーの他にさらに5つのコーナー（箸作り・紙工作・ぶんぶんゴマ・本となかよし・理科実験）が用意され、どのコーナーも楽しく有意義なひとときを過ごすことができました。



○市教育研究会発表会

10月24日に、常陸大宮市教育研究会指定校発表会が開かれました。

研究主題は「一人一人の児童が自信をもって学校生活を送るための支援の在り方―特別活動における自主的、自治的な集団活動を通して―」です。話し合い活動を活性化させるために学級会の進め方カードや話し合いカード等の工夫によって、一人一人に発達の段

階に応じた自治活動に向けた意欲や自覚を高めさせることができ、生き生きとした姿を発揮することができました。また、縦割り班（異学年児童で編成した班）活動の場と機会が多くなったことよって、上級生が下級生への理解と関心を高め、自分にできることをやってあげたいという思いをもち、進んで行う姿を目にするようになりました。下級生は、上級生に親近感を持ち、指示をきちんと聞けるようになり、共同生活を送る上で守るべきルールを尊重するようになりました。

